

- 問1 九州地方の阿蘇山などに代表される、火山の大規模な噴火によって形成された、大きなくぼ地状の地形を何といいますか。 (2022年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 扇状地 2. シラス台地 3. 三角州 4. カルデラ
- 問2 九州地方の北部に位置し、福岡県と佐賀県にまたがって広がる、日本を代表する稲作地帯として知られる平野はどれか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
1. 筑紫平野 2. 宮崎平野 3. 熊本平野 4. 十勝平野
- 問3 世界最大級のカルデラを持つ阿蘇山が位置する県について、統計資料において第1次産業の就業者割合が約10パーセントと比較的高く、人口密度が1平方キロメートルあたり約240人である場合、この県の名前として正しいものはどれですか。 (2019年 愛知県公立入試 類似)
1. 熊本県 2. 鹿児島県 3. 宮崎県 4. 長崎県
- 問4 阿蘇山に見られる「カルデラ」と呼ばれる地形に関する説明として、その成り立ちと内部の様子を正しく組み合わせたものはどれですか。 (2022年 愛媛県公立入試 類似)
1. 大規模な噴火のあとに中央部が陥没して形成され、内部には平坦な土地が広がり集落や農地が存在している。
2. 地殻変動によって山地が海に沈んで形成され、複雑に入り組んだ海岸線が天然の良港として利用されている。
3. 火山灰が長期間にわたって厚く降り積もって形成され、水はけが良すぎるため稲作には向かない広大な台地となっている。
4. 川が山地から平地へと流れ出す場所に土砂が堆積して形成され、水が得やすいため古くから大規模な都市が発達している。
- 問5 13世紀に起こった元寇において、朝鮮半島から九州の博多湾を目指した元軍が、九州へ上陸する前に経由・侵攻した、九州の北西に位置する島を選択してください。 (2018年 三重県公立入試 類似)
1. 淡路島 2. 壱岐 3. 対馬 4. 種子島
- 問6 九州地方には多くの火山が分布していますが、その地下にあるマグマの熱を利用して電気を起こす発電方式を何といいますか。二酸化炭素の排出が少なく、持続可能なエネルギー源の一つとして注目されている名称を答えなさい。 (2022年 千葉県公立入試 類似)
1. 水力発電 2. 風力発電 3. 太陽光発電 4. 地熱発電
- 問7 鹿児島県の大隅半島付近に広く分布する、火山活動による噴出物が積み重なってできた台地について説明したもののとして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
1. 灰白色の土に覆われており、水はけがよいため畑作や畜産が盛んに行われている。
2. 川の流れによって運ばれた土砂が河口付近に堆積してできた、平坦で低く湿った土地である。
3. 山地が沈降してできた複雑な海岸線を持ち、真珠やカキの養殖が盛んに行われている。
4. 火山の噴火によって形成された大規模なくぼ地であり、その内部は広大な水田地帯となっている。
- 問8 九州地方などの畜産業において、外国から安価な牛肉や豚肉の輸入が増加した際、国内の農家が経営を維持するために取った戦略として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 福島県公立入試 類似)
1. 「宮崎牛」などの名称を冠したブランド化を進め、品質の高さで差別化を図った。
2. 畜産業から撤退し、すべての農地を海外輸向け果樹栽培に転換した。
3. 外国産の肉に対抗するため、生産コストを極限まで下げて安売り競争を続けた。
4. 外国からの輸入を完全に禁止するよう国に強く働きかけ、市場の独占を目指した。
- 問9 日本の4つの道県の農業統計において、農業産出額が約4,800億円と全国上位でありながら、米の産出額が占める割合がわずかに4.3%にとどまる県があります。この県における農業の特徴として正しいものはどれですか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
1. 気候が温暖な平野部で、冬の暖かさを利用して野菜を通常の時期より早く栽培する促成栽培が盛んに行われている。
2. 広大な平野を活用し、大型機械を用いた大規模な稲作が行われており、農業産出額の半分以上を米が占めている。
3. シラス台地などの地形を活かし、サツマイモや茶などの生産、および肉用牛や豚などの畜産が全国トップクラスの規模で行われている。
4. 都市近郊の立地を活かして、収穫から消費地までの輸送時間を短縮できるコマツナやホウレンソウなどの近郊農業が中心となっている。
- 問10 ある県の主要5市を比較した統計において、福岡市は面積割合が6.9パーセントと最小クラスである一方、人口割合は31.4パーセントと最大値を示しています。この数値から読み取れる、福岡市の社会的な特徴について述べた文として正しいものはどれですか。 (2023年 岡山県公立入試 類似)
1. 人口の流出が激しく面積あたりの人口が減少しているため、過疎化対策が必要である。
2. 人口と面積の割合が同程度であるため、過密による交通渋滞などの問題が起こりにくい。
3. 人口割合が面積割合を大きく上回っており、人や機能が高度に集中している。
4. 面積割合が人口割合を大きく上回っており、居住空間にゆとりがある。
- 問11 統計資料において沖縄県の観光客数や観光収入が長期的に増加している背景には、地域の産業構造の変化や社会基盤の整備が深く関わっています。その背景を説明したもののとして、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 群馬県公立入試 類似)
1. 那覇空港の拡張や大型リゾートホテルの建設といったインフラ整備が進み、国内外からのアクセスと受け入れ体制が向上したこと。
2. 製造業による輸出額が観光収入を大きく上回ったことで、その利益が観光地の景観維持に再投資される循環が生まれたこと。
3. サトウキビやパイナップルなどの第1次産業の生産を縮小し、すべての労働力を観光産業に集約させる政策が1970年代から徹底されたこと。
4. 県内全域に鉄道網が細かく張り巡らされ、レンタカーやバスを利用せずに観光地を移動できる交通環境が整ったこと。
- 問12 九州地方南部の鹿児島県から宮崎県にかけて広がる、過去の巨大な火山活動による噴出物が厚く積み重なって形成された広大な台地を何と呼びますか。 (2019年 三重県公立入試 類似)
1. カルデラ 2. 筑紫平野 3. 甲府盆地 4. シラス台地
- 問13 九州地方南部の鹿児島県から宮崎県にかけて広がる、過去の火山の巨大噴火による噴出物（火山灰など）が厚く積み重なってできた広大な台地を何と呼びますか。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)
1. 干拓地 2. シラス台地 3. カルデラ 4. 扇状地
- 問14 温泉の源泉数が全国で最も多いことで知られる大分県の地域的特徴について、地形や産業の観点から述べた説明として最も適切なものはどれですか。 (2019年 徳島県公立入試 類似)
1. 筑後川の下流に広がる平野部を利用して、米と小麦の二毛作が盛んに行われている。
2. 火山活動が活発な地域に位置しており、別府や由布院などの温泉地が観光の拠点となっている。
3. 広大な干拓地を有しており、機械化された大規模な農業によって小麦の生産が行われている。
4. 亜熱帯の気候を生かして、サトウキビやパイナップルなどの栽培が盛んに行われている。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 カルデラ	火山の噴火によって地下のマグマが噴き出し、その後に地表が陥没したり、浸食を受けたりすることで、円形に近い巨大なくぼ地が形成されます。阿蘇山はこのカルデラの中に集落や田畑、鉄道が広がっている世界的にも珍しい地域です。選択肢にあるシラス台地は火山灰が堆積してできた台地であり、地形の形状や成り立ちが異なります。
問2	答え 1 筑紫平野	筑紫平野は、九州最大の河川である筑後川の下流に広がる平野です。クリーク（水路）が発達し、古くから稲作が盛んに行われています。選択肢の熊本平野は九州中部、宮崎平野は九州南東部に位置します。
問3	答え 1 熊本県	阿蘇山は熊本県に位置しています。熊本県は豊かな湧水や阿蘇の広大な景観を活かした農業が盛んであり、第1次産業の就業者割合が全国平均よりも高い傾向にあります。鹿児島県にはシラス台地、長崎県にはリアス海岸といった特徴的な地形がありますが、阿蘇山のカルデラがあるのは熊本県です。
問4	答え 1 大規模な噴火のあとに中央部が陥没して形成され、内部には平坦な土地が広がり集落や農地が存在している。	カルデラは火山活動による陥没でできた地形ですが、その内部は非常に広大で平坦な土地が広がっている場合があります。阿蘇山では、このカルデラの中に数万人が居住する集落があり、水田や畑などの農地、さらには鉄道（JR豊肥本線）や国道といった交通網も整備されているのが大きな特徴です。他の選択肢はシラス台地、扇状地、リアス海岸の説明です。
問5	答え 3 対馬	この島は地理的に朝鮮半島と九州の間に位置しており、古くから大陸との交流の要所でした。鎌倉時代の元寇（文永の役・弘安の役）では、博多に押し寄せる元軍が最初に攻撃を仕掛けてきた場所として、歴史上重要な役割を果たしています。
問6	答え 4 地熱発電	日本は世界有数の火山国であり、地下のマグマの熱を利用して蒸気を取り出し、タービンを回して発電する仕組みが各地で導入されています。これは再生可能エネルギーの一つであり、天候に左右されにくい安定したエネルギー源として、環境負荷の低減にも貢献しています。
問7	答え 1 灰白色の土に覆われており、水はけがよいため畑作や畜産が盛んに行われている。	九州南部に広がるシラス台地は、火山活動の噴出物である灰白色の「シラス」という土の層で構成されています。この土壌は非常に水はけがよく、水を溜めることが難しいため、水田稲作よりもサツマイモや茶などの畑作、あるいは肉用牛や豚などの畜産業が発展しました。
問8	答え 1 「宮崎牛」などの名称を冠したブランド化を進め、品質の高さで差別化を図った。	貿易の自由化などにより、海外から安価な食肉が大量に流入するようになると、国内の農家は価格の安さだけでは太刀打ちできなくなりました。そこで、厳しい品質基準をクリアした肉に地域独自の名称を付ける「ブランド化」を行い、価格が高くても品質で選ばれるような付加価値をつけることで、外国産との差別化を図る道を選びました。
問9	答え 3 シラス台地などの地形を活かし、サツマイモや茶などの生産、および肉用牛や豚などの畜産が全国トップクラスの規模で行われている。	農業産出額が高く、かつ米の割合が極端に低いというデータは鹿児島県の特徴を示しています。鹿児島県は、稲作に適さないシラス台地の特性を克服するため、畑作や畜産に力を入れてきました。その結果、サツマイモや茶の生産量、さらには黒豚や肉用牛といった畜産部門で全国屈指の産出額を記録しています。なお、大規模な稲作は主に北海道や新潟県、促成栽培は高知県や宮崎県、近郊農業は千葉県や埼玉県などの特徴です。
問10	答え 3 人口割合が面積割合を大きく上回っており、人や機能が高度に集中している。	福岡市の特徴は、県全体に占める面積の割合に対して、人口の割合が圧倒的に大きい点にあります。この数値の乖離は、県内の人や経済活動、行政機能などが福岡市という限られた範囲に極度に集中していることを示しています。その結果として高い人口密度が形成されており、九州地方における地方中枢都市としての機能を果たしています。
問11	答え 1 那覇空港の拡張や大型リゾートホテルの建設といったインフラ整備が進み、国内外からのアクセスと受け入れ体制が向上したこと。	沖縄県は離島県であるという特性上、観光客を増やすためには航空路線の拡充や空港の整備が不可欠でした。また、1975年の沖縄国際海洋博覧会以降、大規模なリゾート開発が進んだことで、観光収入を拡大させる基盤が整いました。現在では、観光産業は沖縄県の県内総生産（GDP）において極めて重要な役割を果たしており、雇用創出の面でも経済を支える大きな要因となっています。
問12	答え 4 シラス台地	九州地方南部には、過去の火山活動に由来する火砕流堆積物が広範囲に分布しています。この白っぽい砂状の土壌からなる台地は、水はけが非常に良く水持ちが悪いため、かつては稲作に向かない土地とされてきました。そのため、現在でもサツマイモや茶などの畑作、あるいは大規模な畜産が盛んな地域となっています。
問13	答え 2 シラス台地	鹿児島県周辺には、火山の噴出物である火山灰や軽石などが堆積してできた大規模な台地が存在します。この地形は水はけが非常に良いという特徴があり、かつては水不足に悩まされることもありましたが、現在ではその特性を活かした畑作や畜産が盛んに行われています。
問14	答え 2 火山活動が活発な地域に位置しており、別府や由布院などの温泉地が観光の拠点となっている。	大分県は、九州を横断する火山帯の影響を受けており、地熱資源が非常に豊富です。源泉数が4,000箇所を超えるという特徴は、活発な火山活動という自然環境を背景にしたものであり、これを活用した別府温泉や由布院温泉は、国内外から多くの観光客を集める九州を代表する観光地となっています。

- 問1 九州地方南部では畜産が盛んであり、全国の産出額上位10府県のうち多くを九州の県が占めています。このように、南九州で大規模な水田稲作ではなく、畜産や畑作が発達した主な地理的要因として正しいものはどれですか。 (2018年 福岡県公立入試 類似)
1. 冬の寒さが非常に厳しく、夏の間しか作物を育てられないため、通年でできる畜産を選択したため。
 2. 平地がほとんど存在せず、傾斜地を利用した放牧しか農業の手段がなかったため。
 3. 水はけが良すぎるシラス台地が広がっており、水の確保が難しく水田開発に制約があったため。
 4. 年間を通じて降水量が極めて少なく、乾燥した気候が家畜の飼育に最適であったため。
- 問2 九州地方南部に位置する鹿児島県では、第1次産業の就業人口割合が約9.5%と全国平均に比べて高く、農業が盛んです。この県の土地利用の特徴として、耕地面積に占める畑の割合が約68%と非常に高いことが挙げられますが、このように畑作や畜産が中心となった主な理由として正しいものはどれですか。 (2018年 東京都公立入試 類似)
1. 平野部がほとんど存在せず、急峻な傾斜地を利用した果樹園の経営が中心となったから。
 2. シラス台地と呼ばれる火山灰が降り積もった土地が広がり、水持ちが悪いため稲作に不向きであったから。
 3. 冬の積雪量が多く、1年の半分以上を農作業に充てることができない気候特性があるから。
 4. 夏の降水量が極端に少なく、大規模なため池を作ることが技術的に困難であったから。
- 問3 九州地方の北東部に位置し、別府や由布院といった日本を代表する温泉地がある大分県では、火山の熱エネルギーを直接利用した発電が行われています。この発電方法を何といいますか。 (2025年 北海道公立入試 類似)
1. 太陽光発電
 2. 風力発電
 3. 地熱発電
 4. 水力発電
- 問4 宮崎県では、農業産出額の約3分の2を畜産が占めています。このように宮崎県で肉用牛、豚、鶏などの飼育が盛んになった背景として、土地の性質に触れた説明として最も適切なものを選びなさい。 (2024年 茨城県公立入試 類似)
1. 冬でも温暖な気候を利用して、家畜の飼料となる穀物を二毛作で大量に生産できる環境があったため。
 2. シラス台地が広がり水持ちが悪く稲作に適さない土地が多いため、広大な土地を活用した畜産が発展した。
 3. 大消費地である東京から遠いため、野菜よりも保存や加工がしやすい畜産物の生産に力を入れた。
 4. 平野部が少なく耕地面積が限られているため、狭い土地でも効率よく収益が上がる畜産業に特化した。
- 問5 沖縄県の地域調査において、本土復帰から現代までの経済統計について考察した次の記述のうち、正しいものはどれですか。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
1. 基地関連収入の割合が大幅に低下したのは、県民総所得の総額が1972年時点よりも減少したためであり、沖縄経済の規模は縮小を続けている。
 2. 復帰直後の沖縄県では基地関連収入が県民総所得の5.7%を占めるに過ぎなかったが、現在は基地の役割が増大し、その割合は30.4%に達している。
 3. 県民総所得の総額は、1972年の約5,000億円から2014年の約4兆3,000億円へと増加しているが、基地関連収入の割合は依然として30%を超えている。
 4. 1972年と2014年を比較すると、県民総所得に占める基地関連収入の割合は約4分の1以下に低下しており、基地に依存しない経済への転換が進んでいる。
- 問6 九州地方の北西に位置し、朝鮮半島との最短距離にあることから、歴史的に大陸との外交や貿易の中継地となってきた島があります。鎌倉時代に元軍が日本へ侵攻した際にも、その地理的条件から最初の攻撃対象となったこの島の名称は何ですか。 (2018年 三重県公立入試 類似)
1. 対馬
 2. 五島列島
 3. 佐渡
 4. 隠岐
- 問7 鹿児島県などの南九州に広がるシラス台地では、一般的な地域の井戸が約6メートルから10メートル程度の深さであるのに対し、約64メートルもの深さがある「深井戸」が掘られてきました。このように極端に深い井戸が必要とされた理由として最も適切な説明はどれですか。 (2024年 福岡県公立入試 類似)
1. 関東ローム層と呼ばれる粘土質の層が厚く、地表付近の水の浸透を妨げているため
 2. 台風による塩害を防ぐため、海水の混入しない深層の真水を確認する必要があるため
 3. 地表を覆う火山噴出物の層が極めて水はけ良く、地下深くの帯水層まで掘り進める必要があるため
 4. 花こう岩の地層が地表近くまで迫っており、岩盤の隙間にあるわずかな水を確保するため
- 問8 日本の諸地域に見られる伝統的な住居の工夫について述べた次の文のうち、南西諸島の特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)
1. 敷地の周囲を石垣で囲い、屋根には赤瓦を用いてその隙間を漆喰で固めている。
 2. 屋根の傾斜を急にし、厚い茅（かや）で葺くことで、雪が滑り落ちやすくしている。
 3. 住居の北側や西側に「防風林（屋敷林）」を植えることで、冬の厳しい寒風を防いでいる。
 4. 地面から床を高くした高床式の構造にすることで、地面からの湿気を通さないようにしている。
- 問9 北九州工業地域の工業出荷額を産業別に見た際、機械工業や金属工業とともに主要な割合を占める産業があります。この産業の工場が、福岡県北九州周辺の沿岸部に集中して分布している主な理由として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
1. 内陸部と比較して地価が高く、企業としてのブランドイメージが高まるため
 2. 原料となる農産物を、近隣の平野部から短時間で集荷できるため
 3. 製品の鮮度を保つ必要があり、消費地である都市部に隣接しているため
 4. 海外から輸入する原料の搬入や、完成した製品の船舶輸送に便利のため
- 問10 福岡県の工業出荷額に占める産業別割合を示した統計において、機械工業に次いで大きな割合を占め、北九州工業地域の沿岸部に工場が集中している産業の名称を答えなさい。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
1. 化学工業
 2. 金属工業
 3. 食料品工業
 4. せんい工業
- 問11 鹿児島県の桜島周辺における降灰被害について、冬の2月には降灰が主に火口の南東方向（海側）へ広がるのに対し、夏の8月には火口の北西方向（鹿児島市街地側）へと広がることが統計的に示されています。このように、時期によって降灰の範囲が変化する要因として最も適切な説明はどれですか。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
1. 日本付近の上空を流れる偏西風が、季節によって完全に消滅するため
 2. 季節風の影響により、季節ごとに卓越する風の向きが変化するため
 3. 周辺を流れる日本海流（黒潮）が、季節によって流路を大きく変えるため
 4. 夏は気温が高いため、噴煙が上昇気流に乗って拡散されなくなるため
- 問12 九州地方の農業について述べた文のうち、筑紫平野で見られる農業の特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2025年 京都府公立入試 類似)
1. 広大な平野部の水田を活用し、夏には米を、冬には麦などを栽培する二毛作が行われている。
 2. 阿蘇山周辺の広大な草原や斜面を利用して、肉用牛の放牧や酪農が行われている。
 3. シラス台地特有の水はけの良さを活かして、サツマイモや茶の栽培、畜産が盛んに行われている。
 4. 温暖な気候を利用し、宮崎平野を中心にピーマンやきゅうりの促成栽培が行われている。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 水はけが良すぎるシラス台地が広がっており、水の確保が難しく水田開発に制約があったため。	南九州の広範囲を覆うシラス台地は、火山由来の堆積物でできており、非常に水はけが良いという特性を持っています。このため、大量の水を蓄える必要がある水田稲作には適していませんでした。その代わり、乾燥に強い作物を作る畑作や、その飼料を活用できる肉用牛・豚などの飼育が地域の主要な産業として定着しました。
問2	答え 2 シラス台地と呼ばれる火山灰が降り積もった土地が広がり、水持ちが悪いため稲作に不向きであったから。	鹿児島県を含む九州南部には、火山の噴出物が積み重なってできたシラス台地が広がっています。この土地は水はけが良すぎて水持ちが悪いため、かつては大規模な水田を作ることが困難でした。そのため、水が少なくても育つサツマイモなどの畑作や、広大な土地を利用した肉用牛、豚、ブロイラー（鶏）などの畜産が発展しました。
問3	答え 3 地熱発電	大分県は火山活動が盛んであり、地下のマグマの熱を利用して高温の水蒸気を取り出し、タービンを回す発電方法が普及しています。これは再生可能エネルギーの一つであり、温泉地としても知られる別府などの地域特性を活かしたものです。水力発電はダムなどの水の落差を利用するもので、火山の熱を利用するものではありません。
問4	答え 2 シラス台地が広がり水持ちが悪く稲作に適さない土地が多いため、広大な土地を活用した畜産が発展した。	宮崎県を含む南九州には、火山の噴出物が積み重なってできたシラス台地が広がっています。シラス台地は水はけが良すぎて稲作には不向きであったため、古くから畑作や、広大な土地を必要とする畜産業が発展しました。現在では、宮崎県は肉用牛、豚、ブロイラー（鶏）のいずれも全国有数の産出額を誇る「畜産王国」となっています。
問5	答え 4 1972年と2014年を比較すると、県民総所得に占める基地関連収入の割合は約4分の1以下に低下しており、基地に依存しない経済への転換が進んでいる。	本土復帰直後の沖縄県では、県民総所得の約3割（30.4%）を基地関連収入が占めており、基地が経済に与える影響が極めて大きい状態でした。しかし、その後の経済発展によって県民総所得の総額が約8倍以上に増加した結果、基地関連収入が占める割合は5.7%まで低下しました。このことは、沖縄経済の構造が基地依存から観光やサービス業を中心とした自立的な方向へ変化してきたことを示しています。
問6	答え 1 対馬	九州、中国地方、四国の一部を含む周辺海域の中で、朝鮮半島に最も近い位置にあるこの島は、軍事・交通の拠点でした。元寇の際には、元軍が博多湾へと進むルートの途中でこの島や吉岐を制圧し、九州本土への足掛かりにしようとした。
問7	答え 3 地表を覆う火山噴出物の層が極めて水はけ良く、地下深くの帯水層まで掘り進める必要があるため	南九州に広がるシラス台地は、過去の火山活動による火砕流堆積物（シラス）で構成されています。この層は非常に厚く、かつ粒子が粗いため水はけが良すぎるという特徴があります。そのため、雨水はすぐに地下へ浸透してしまい、地表付近で水を得ることが困難です。生活用水を確保するためには、この厚いシラス層を貫き、地下水が蓄えられている「帯水層」に到達するまで深く掘り進める必要がありました。
問8	答え 1 敷地の周囲を石垣で囲い、屋根には赤瓦を用いてその隙間を漆喰で固めている。	南西諸島の伝統的な民家は、サンゴ礁を利用した石垣で囲まれていることが多く、これは台風などの強風から家を守る役割を果たしています。また、屋根には風に強いとされる赤瓦が使われ、さらに瓦が吹き飛ばされないよう漆喰で継ぎ目を固めているのが外観上の大きな特徴です。急勾配の屋根は白川郷などの合掌造り、防風林は関東平野や平居などで見られる工夫です。
問9	答え 4 海外から輸入する原料の搬入や、完成した製品の船舶輸送に便利のため	北九州工業地域の化学工業は、石油や天然ガスなどの原料を海外から大型船で輸入し、大規模な設備で加工した製品を国内外へ輸送する形態をとっています。そのため、物流コストを抑えることができる港湾に近い沿岸部が立地として極めて有利になります。かつて官営八幡製鉄所を中心に金属工業が発展した際も、同様の理由で沿岸部が選ばれ、現在の化学工業の集積にもつながっています。
問10	答え 1 化学工業	北九州工業地域は、鉄鋼業（金属工業）から発展した歴史がありますが、現在は機械工業や化学工業が工業出荷額の中で重要な役割を担っています。特に化学工業は、広大な敷地と港湾施設を必要とするため、地図上の工場分布を確認すると、内陸部よりも沿岸部に記号が集中していることがわかります。これは原料の輸入と製品の輸出を効率化するための典型的な臨海型工業の特徴です。
問11	答え 2 季節風の影響により、季節ごとに卓越する風の向きが変化するため	日本付近では、季節によって吹く方向が変わる「季節風」の影響を強く受けます。一般的に、冬は北西から、夏は南東からの風が吹くため、火口から見て北西方向に位置する鹿児島市街地では、特に夏場に降灰の影響を受けやすくなるという地理的な特徴があります。一方、冬は北西からの風によって火山灰が南東側の海へと流されるため、市街地への影響は夏に比べて限定的になります。
問12	答え 1 広大な平野部の水田を活用し、夏には米を、冬には麦などを栽培する二毛作が行われている。	筑紫平野は福岡県から佐賀県にかけて広がる九州最大の平野であり、古くから稲作と麦作を組み合わせた二毛作が行われてきました。他の選択肢にある「シラス台地」は南九州の鹿児島県に見られる特徴であり、「促成栽培」は宮崎平野の高知平野に見られる特徴です。地域ごとの地形や気候に適した農業形態を区別することが重要です。

- 問1 九州地方南部に広がる「シラス台地」と呼ばれる火山灰の台地において、大規模な稲作よりも豚や鶏などの畜産業が盛んに行われてきた理由として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 台地の土壌に塩分が多く含まれており、塩害に弱い稲の栽培が不可能であったため | 2. シラス台地は標高が高く、夏季の気温が稲の成長に必要な水準まで上がらないため | 3. 大規模な灌漑設備を整えるよりも、家畜の餌となるトウモロコシの栽培の方が容易であったため | 4. 火山灰が堆積した地層は水はけが良すぎて、稲作に必要な水を保持することが困難であったため |
|--|--|--|--|
- 問2 九州地方南部に位置する宮崎県の農業的特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。農産物産出額の内訳や気候条件に着目して答えなさい。 (2023年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 冷涼な気候を利用した「抑制栽培」が盛んで、夏から秋にかけてキャベツやレタスを都市部へ出荷している。 | 2. 温暖な気候を活かした畜産業が非常に盛んであり、県の農産物産出額のうち「畜産」が占める割合が約半分に達している。 | 3. 広大な平野を活用した稲作が中心であり、農産物産出額の大部分を「米」が占めている。 | 4. 瀬戸内の温暖な気候を活かし、ブドウやモモなどの「果樹」の産出額が全国でもトップクラスである。 |
|--|--|---|---|
- 問3 九州地方の南から日本の太平洋側に沿って流れる海流について、低緯度から流れてくる「暖流」であり、周辺地域に冬でも温暖な気候をもたらす特性を持つものの名称はどれですか。 (2024年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|----------|---------|-------------|
| 1. 親潮（千島海流） | 2. リマン海流 | 3. 対馬海流 | 4. 黒潮（日本海流） |
|-------------|----------|---------|-------------|
- 問4 日本の諸地域のうち、強い日差しを避けるための深い軒（のき）や、強風対策として家を囲む石垣、さらに屋根瓦を漆喰（しっくい）で固めるといった、独自の気候条件に適応した伝統的な家屋の工夫が最もよく見られる地域はどこですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 石川県 | 2. 岐阜県 | 3. 沖縄県 | 4. 北海道 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問5 九州地方に位置し、阿蘇山周辺や平野部、干拓地などを活かした農業が盛んで、全国トップクラスの農業産出額を誇り、特に野菜の生産額が多い県はどこですか。 (2026年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 長野県 | 2. 高知県 | 3. 愛媛県 | 4. 熊本県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問6 日本におけるブリ類の「海面漁獲量（天然もの）」と「海面養殖業（養殖もの）」の統計的な特徴を比較した説明として、正しいものを選びなさい。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 海面漁獲量では長崎県が全国1位であるが、海面養殖業では鹿児島県が1位となっており、九州地方内でも漁法によって主要な県が分かれている。 | 2. 海面養殖業の上位5県には愛媛県や高知県といった四国地方の県も含まれるが、九州地方の3県の合計収穫量には及ばない。 | 3. 海面漁獲量の上位5道県はすべて日本海側に位置しており、対馬海流を利用した漁行が盛んなため、養殖業よりも安定した生産量を維持している。 | 4. 海面養殖業の収穫量は全国で約13万7千トンにのぼり、約10万トンの海面漁獲量を上回っている。養殖の拠点は、鹿児島県や大分県などの九州地方に集中している。 |
|---|---|---|---|
- 問7 土地の条件に応じた人々の生活の工夫について、南九州のシラス台地における水利用の特徴を正しく説明しているものはどれですか。 (2024年 福井県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 水田稲作に適した粘土質の土壌が広がっているため、ため池を各地に作り、網の目のような用水路を張り巡らせた。 | 2. 土地が非常に平坦で水が滞留しやすいため、住居を高く盛り土した「輪中」のような構造の中に井戸を掘った。 | 3. 火山灰が堆積した層は水分を保持しにくいので、地下数十メートルの帯水層まで届く深い井戸が作られた。 | 4. 地表の土壌が非常に硬く掘削が困難なため、遠方の河川から「疎水」と呼ばれる長い水路を引いて水を確保した。 |
|---|---|---|--|
- 問8 九州地方に位置するある県に関する統計において、第1次産業の就業者割合が10%を超えており、農業産出額が4000億円を上回る全国有数の規模となっています。また、この県の製造品出荷額で最も大きな割合を占める品目が「食料品」であるとき、あてはまる県名はどれですか。 (2016年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| 1. 鹿児島県 | 2. 静岡県 | 3. 山形県 | 4. 千葉県 |
|---------|--------|--------|--------|
- 問9 鹿児島県を中心に分布するシラス台地において、古くから稲作よりもサツマイモなどの畑作や畜産が中心に行われてきた理由として、この土地の土壌が持つどのような性質が関係していますか。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|
| 1. 火山灰が堆積した層でできており、極めて水はけが良いため | 2. 土壌に含まれる有機物が多すぎて、稲の病気が発生しやすいため | 3. 標高が高く年間を通じて気温が低いので、稲の成長が遅いため | 4. 粘土質の土壌で水を通しにくく、常に湿地状態であるため |
|--------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|
- 問10 北九州工業地帯は、明治時代に官営八幡製鉄所が建設されて以降、日本の重工業を支えてきました。この地域の産業構造の変遷と現状について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 瀬戸内工業地域と同様に、大規模な石油化学コンビナートが形成され、化学工業が主要な産業となっている。 | 2. 豊富な石炭資源を背景に、現在も鉄鋼業を中心とした金属工業の割合が製造品出荷額の過半数を占めている。 | 3. 近年は自動車工場などの進出が進み、金属工業に代わって機械工業の割合が最も高くなっている。 | 4. 沿岸部の埋め立て地に大規模な製粉・製糖工場が集まり、食料品工業が産業の柱へと成長した。 |
|--|--|---|--|
- 問11 熊本県における農業の地域的特徴について説明した文として、適切なものはどれですか。 (2026年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 年間を通して降水量が非常に少なく乾燥しているため、水利用を抑えた小麦や大豆の栽培が主流である。 | 2. 冷涼な気候を生かした露地栽培が中心であり、夏季におけるキャベツやレタスの出荷量が全国一である。 | 3. 山間部の傾斜地を利用した果樹園が多く、みかんやすもなどの果実の生産額が県全体の過半数を占める。 | 4. 平野部や干拓地などを活用した農業が盛んで、全国屈指の農業産出額を誇り、特に野菜の生産額が多い。 |
|--|--|--|--|
- 問12 阿蘇山などで見られる「カルデラ」が形成される仕組みについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 波の浸食作用によって海岸の岩場が削られ、さらに地盤の沈降によって複雑に入り組んだ地形として形成される。 | 2. 火山から吹き出した火山灰や軽石が、長年にわたって周辺の平地に厚く降り積もることで形成される。 | 3. 地殻変動によって山脈の一部が激しく隆起し、その周囲が相対的に低くなることで形成される。 | 4. 大規模な噴火によって地下のマグマが放出され、空洞になった山頂部が崩れ落ちることで形成される。 |
|--|---|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 火山灰が堆積した地層は水はけが良すぎて、稲作に必要な水を保持することが困難であったため	九州南部に広がるシラス台地は、過去の火山活動によって噴出した火砕流堆積物からなる台地です。この土壌は水分を保持しにくい「水はけが良い」という性質を持っており、水田に水を溜めることが難しいため、古くから稲作には不向きとされてきました。その結果、水が少なくても育つサツマイモなどの畑作や、広大な土地を利用した豚・鶏などの畜産業が発展しました。
問2	答え 2 温暖な気候を活かした畜産業が非常に盛んであり、県の農産物産出額のうち「畜産」が占める割合が約半分に達している。	宮崎県は、鹿児島県とともに九州南部（南九州）を代表する畜産地帯です。肉用牛、豚、鶏などの飼育が非常に盛んで、農産物産出額における畜産の割合が極めて高いのが特徴です。また、冬でも温暖な気候を利用したビニールハウスによる野菜の「促成栽培」も盛んですが、米を中心とするのは福井県、果樹が目立つのは岡山県、冷涼な気候を活かした抑制栽培は岩手県などの東北や長野県の特徴であるため、これらと区別する必要があります。
問3	答え 4 黒潮（日本海流）	九州から本州の南側を流れるこの海流は、赤道付近の低緯度海域から熱を運んでくるため、沿岸の気候を暖かく保つ役割を果たしています。別名を日本海流と呼びます。これに対し、千島列島から南下してくる親潮（千島海流）は寒流であり、対馬海流は日本海側を流れる暖流です。
問4	答え 3 沖縄県	南西諸島に位置する沖縄県では、高温多湿で台風が多いという厳しい気候条件に対応した住居の工夫が受け継がれてきました。石垣には地元のサンゴ礁からなる石灰岩が使われることが多く、周囲に植えられるフクギは防風・防潮の効果が高い樹木として知られています。これらは、積雪対策を重視する北海道や、合掌造りが見られる岐阜県の白川郷などとは対照的な、地域特有の景観を形成しています。
問5	答え 4 熊本県	九州地方の熊本県は、阿蘇の外輪山麓や平野部、干拓地などを活用した農業が行われています。全国屈指の農業産出額を誇っており、トマトなどをはじめとする野菜の生産額が特に多いことが特徴です。
問6	答え 4 海面養殖業の収穫量は全国で約13万7千トンにのぼり、約10万トンの海面漁獲量を上回っている。養殖の拠点は、鹿児島県や大分県などの九州地方に集中している。	日本のブリ類生産は、海面漁獲量よりも海面養殖業による収穫量の方が多いという構造になっています。養殖は鹿児島県（1位）、愛媛県（2位）、大分県（3位）、宮崎県（4位）、高知県（5位）と西日本の暖かな海域で盛んですが、特に鹿児島、大分、宮崎の九州3県によるシェアが非常に高いのが特徴です。一方、海面漁獲量では北海道が1位であり、長崎、島根、岩手、千葉と各地に分散しています。
問7	答え 3 火山灰が堆積した層は水分を保持しにくいいため、地下数十メートルの帯水層まで届く深い井戸が作られた。	シラスは火山灰などの噴出物が積み重なってできた土壌であり、非常に水を通しやすい性質を持っています。台地の上では水がすぐに地下へ抜けてしまうため、古くから水不足に悩まされてきました。この問題を解決するために、鹿児島県の一部地域では60メートルを超えるような深い垂直の井戸を掘り、地下深くの帯水層から水を汲み上げる工夫がなされました。これは、関東地方の火山灰土である関東ローム層とは異なる、シラス特有の堆積の厚さと性質に起因するものです。
問8	答え 1 鹿児島県	鹿児島県はシラス台地が広がる地理的特性から、古くよりサツマイモの栽培や、豚・茶などの生産といった畜産業・畑作が非常に盛んです。第1次産業の就業者割合が全国平均と比べても高く、豊かな農畜産物を原材料とした食料品加工業が地域の製造業の中心を担っているため、製造品出荷額でも食料品が第1位となっています。
問9	答え 1 火山灰が堆積した層でできており、極めて水はけが良いため	シラスの層は粒が粗く隙間が多いため、水が地下へ浸透しやすく、表面に水を溜めておく必要がある水田稲作には不向きな土地でした。そのため、乾燥に強いサツマイモや茶の栽培、あるいは広大な土地を活かした豚や肉用牛の飼育といった畜産業が発展する背景となりました。
問10	答え 3 近年は自動車工場などの進出が進み、金属工業に代わって機械工業の割合が最も高くなっている。	北九州工業地帯は、かつては筑豊炭田の石炭と中国からの鉄鉱石を利用した官営八幡製鉄所を中心に、金属工業が圧倒的な割合を占めていました。しかし、エネルギー革命による炭鉱の閉鎖や産業構造の変化を経て、現在は自動車産業を中心とした機械工業が発展しています。製造品出荷額の内訳でも、機械工業が約4割を占め、金属工業を上回る構成へと変化している点が重要な特徴です。
問11	答え 4 平野部や干拓地などを活用した農業が盛んで、全国屈指の農業産出額を誇り、特に野菜の生産額が多い。	熊本県では、平野や干拓地などの自然条件を生かして多彩な農業が展開されています。全国でもトップクラスの農業産出額を記録しており、中でもトマトなどの野菜類の生産が非常に盛んです。
問12	答え 4 大規模な噴火によって地下のマグマが放出され、空洞になった山頂部が崩れ落ちることで形成される。	カルデラはスペイン語で「鍋」を意味し、噴火によって地下のマグマが大量に失われた際、支えを失った火山の中央部が陥没（沈み込むこと）してできた地形です。火山灰が積もってできるのはシラス台地、波の浸食と沈水でできるのはリアス海岸であり、カルデラの形成過程とは異なります。

- 問1 沖縄県の農業経営において、菊の栽培が冬から春にかけて盛んに行われている要因と、その仕組みの組み合わせとして正しいものを選びなさい。
(2024年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 温暖な気候を活かして暖房代などの生産費を削減し、消費地から遠いことによる輸送費の負担を克服している。 | 2. 労働力不足を補うために、冬場だけ働く季節労働者を全国から集め、生産費を一定に保つ工夫をしている。 | 3. 菊の需要が最も高まる9月の出荷をあえて控え、競合が少ない3月の卒業・入学シーズンに絞ることで輸送費の無駄を省いている。 | 4. 夏場の涼やかな気候を活かして他の産地の品不足を補い、高い輸送費を払っても利益が出るような高い販売価格を設定している。 |
|---|---|--|---|
- 問2 長崎県の海面養殖業に関する2008年から2013年までの統計データにおいて、生産額は200億円台、生産量は2万トン前後で推移しています。この期間における長崎県の養殖業の特徴を説明した文として、適切なものはどれですか。
(2017年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. ぶりやまだい、まぐろ、ふぐなど多種多様な魚種を安定して生産しており、全体として一定の生産規模を維持している。 | 2. 養殖技術の向上によって生産量が急増したため、供給過剰となり生産額は年々大幅に減少している。 | 3. 1トンあたりの単価が非常に安価な魚種ばかりを生産しているため、生産量が多いが生産額は10億円を下回っている。 | 4. ふぐの生産だけに特化した産業構造となっており、他の魚種の生産はほとんど行われていない。 |
|---|--|---|--|
- 問3 長崎県は複雑な海岸線を持つことから、入り江などを網で仕切って魚を育てる「海面養殖」が盛んです。2008年から2013年にかけて、長崎県ではぶり、まぐろ、ふぐなどの様々な魚が育てられています。これらと並んで生産額の多くを占めている代表的な魚種を選択肢から選んでください。
(2017年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|----------|--------|
| 1. さけ | 2. かつお | 3. ほたてがい | 4. まだい |
|-------|--------|----------|--------|
- 問4 世界最大級のカルデラを持つ阿蘇山が位置する県について、統計資料において第1次産業の就業者割合が約10パーセントと比較的高く、人口密度が1平方キロメートルあたり約240人である場合、この県の名前として正しいものはどれですか。
(2019年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| 1. 鹿児島県 | 2. 長崎県 | 3. 宮崎県 | 4. 熊本県 |
|---------|--------|--------|--------|
- 問5 熊本県の農業統計において、農業産出額が1,247億円に達する「野菜」と、1,147億円に達する「畜産」が大きな割合を占めている特色について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。
(2020年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 米、野菜、畜産、果実などがバランスよく生産されており、特に野菜と畜産の産出額が非常に高い水準にある。 | 2. 広大な平野を利用した稲作に特化しており、農業産出額の大部分を米が占めている。 | 3. 近郊農業の特性を活かして野菜の生産のみに集中しており、畜産や米の生産はほとんど行われていない。 | 4. 果実と花きの生産に特化した構造となっており、野菜や畜産の産出額は全国平均を下回っている。 |
|---|---|--|---|
- 問6 九州地方の農業について、茶の生産状況を説明した文として正しいものはどれですか。
(2017年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|---|
| 1. 宮崎県は、九州地方の中で最も茶の生産割合が高い県である。 | 2. 福岡県は、三重県や京都府を抑えて国内で最も茶の生産量が多い。 | 3. 鹿児島県は、静岡県に次いで国内で2番目に高い茶の生産量を誇っている。 | 4. 九州地方では茶の生産は行われておらず、近畿地方が全国の生産の大部分を占めている。 |
|---------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|---|
- 問7 鹿児島県において、県庁所在地の周辺に広がり、大規模な住宅団地などが造成されている、火山噴出物が堆積して形成された台地を何と呼びますか。
(2020年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|----------|-----------|
| 1. シラス台地 | 2. 牧之原台地 | 3. 武蔵野台地 | 4. カルスト台地 |
|----------|----------|----------|-----------|
- 問8 九州地方の農業において、鹿児島県や宮崎県を含む南九州で特に生産が盛んであり、統計上も九州地方全体の農業産出額の約4分の1を占める主要な部門はどれですか。
(2018年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|---------|------|
| 1. 果実 | 2. 畜産 | 3. 工芸作物 | 4. 米 |
|-------|-------|---------|------|
- 問9 鹿児島県は、全国有数の農業産出額を誇る一方で、その内訳を見ると米の生産割合が非常に低く、畑作や畜産が中心となっています。このような農業の特色が形成された背景として、最も適切な説明はどれですか。
(2022年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 山間部が多く耕地面積が限られているため、米の生産をあきらめて付加価値の高い果樹栽培に特化したから。 | 2. 水はけが良すぎる火山灰土からなるシラス台地が広く分布しており、稲作よりもサツマイモなどの畑作に適していたから。 | 3. 冬の気温が氷点下になる時期が長く、稲の成長が妨げられる冷害の影響を避けるために畜産へと転換したから。 | 4. 大規模な干拓事業によって得られた平坦な土地が塩分を含んでいたため、米の栽培を避けて野菜栽培を優先したから。 |
|--|--|---|--|
- 問10 鹿児島県などの火山地帯に多く見られる、火山の噴火によって形成された大規模なくぼ地である「カルデラ」の説明として、最も適切なものはどれですか。
(2020年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 火山の周囲を流れる河川の浸食作用によって、山頂付近が大きく削り取られてできた地形である。 | 2. 噴火の際に出た火山灰が周囲の低地に厚く堆積し、周囲よりも低く見えるようになった地形である。 | 3. 地震による断層運動によって地盤が沈み込み、そこに雨水が溜まってできた地形である。 | 4. 大規模な噴火の際、地下のマグマが排出されたことでできた空洞が崩落してできた地形である。 |
|---|--|---|--|
- 問11 九州地方の農業統計において、肉用牛の飼育数が約32万頭と突出して多く、温暖な気候を活かした畜産業と、ビニールハウスなどを活用した野菜栽培を組み合わせた農業が行われている県はどこか。
(2019年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| 1. 大分県 | 2. 福岡県 | 3. 宮崎県 | 4. 鹿児島県 |
|--------|--------|--------|---------|
- 問12 福岡県を訪れる外国人観光客の統計を確認すると、韓国からの宿泊者数が中国からの宿泊者数の3倍以上に達しています。このような特色が見られる主な背景として、最も適切な説明はどれですか。
(2019年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---|---|---------------------------------------|
| 1. 九州新幹線の開通により、東南アジアから陸路での入国が容易になったため | 2. 九州地方では中国との貿易が禁止されており、観光客の受け入れを制限しているため | 3. 福岡県内にアジア最大の国際ハブ空港があり、欧米からの直行便が集中しているため | 4. 博多港と韓国の間国際定期航路があり、地理的にも非常に近接しているため |
|---------------------------------------|---|---|---------------------------------------|
- 問13 九州地方南部や四国地方の太平洋側では、冬でも雪が少なく温暖な気候を利用して、ピーマンやきゅうりなどの促成栽培が盛んに行われています。このような温暖な気候をもたらす主な要因について、海流の性質に注目した説明として最も適切なものを選びなさい。
(2023年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 大陸沿いに南下するリマン海流によって、冬の乾いた季節風が温暖められるため。 | 2. 高緯度から冷たい水を運ぶ「寒流」である親潮が、太平洋の沿岸部を冷やしているため。 | 3. 日本海側を北上する対馬海流が、対馬海峡を通じて太平洋側に大量の熱を供給しているため。 | 4. 低緯度から熱を運んでくる「暖流」である黒潮が、日本の南岸から東岸に沿って流れているため。 |
|--|---|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 温暖な気候を活かして暖房代などの生産費を削減し、消費地から遠いことによる輸送費の負担を克服している。	沖縄県の菊栽培は、自然環境の利点を経済的な不利な条件（距離の遠さ）の解決に結びつけた合理的な農業経営の代表例です。冬に暖房機を使わず栽培できることは、生産コストの面で非常に大きなメリットとなります。2022年のデータでも、冷え込みが厳しい3月に出荷のシェアが高まっている一方で、暖房が不要な9月にはシェアが極端に低くなっていることから、この経済的な仕組みが裏付けられます。
問2	答え 1 ぶりやまだい、まぐろ、ふぐなど多種多様な魚種を安定して生産しており、全体として一定の生産規模を維持している。	長崎県の海面養殖は、対馬海流の影響を受ける良好な漁場環境を背景に、単一の魚種に依存せず、ぶり、まだい、まぐろ、ふぐといった複数の主要魚種をバランスよく生産しているのが特徴です。統計上も生産額・生産量ともに極端な増減は見られず、安定した水産業を展開していることが読み取れます。
問3	答え 4 まだい	長崎県は、リアス海岸などの入り組んだ地形や多くの島々という地理的条件を活かし、海面養殖が非常に盛んな地域です。特に「まだい」の養殖生産量は全国でもトップクラスであり、ぶり、まぐろ、ふぐ（トラフグ）といった市場価値の高い高級魚を組み合わせることで、高い生産額を維持しています。
問4	答え 4 熊本県	阿蘇山は熊本県に位置しています。熊本県は豊かな湧水や阿蘇の広大な景観を活かした農業が盛んであり、第1次産業の就業者割合が全国平均よりも高い傾向にあります。鹿児島県にはシラス台地、長崎県にはリアス海岸といった特徴的な地形がありますが、阿蘇山のカルデラがあるのは熊本県です。
問5	答え 1 米、野菜、畜産、果実などがバランスよく生産されており、特に野菜と畜産の産出額が非常に高い水準にある。	熊本県の農業は、特定の品目に依存せず、米、野菜、畜産、果実、花きなどが幅広く生産されているのが大きな特徴です。2016年の統計データによれば、野菜の産出額が約1,247億円、畜産が約1,147億円となっており、これら2つの分野が県全体の農業経済を支える大きな柱となっています。
問6	答え 3 鹿児島県は、静岡県に次いで国内で2番目に高い茶の生産量を誇っている。	日本の茶の生産は静岡県と鹿児島県の2県が突出しており、鹿児島県は全国第2位のシェアを誇ります。九州地方には宮崎県や福岡県といった産地もありますが、生産量において最も多いのは鹿児島県です。近畿地方の京都府なども茶の産地として有名（宇治茶など）ですが、生産量ベースでは鹿児島県や静岡県が上位を占めるのが現状です。
問7	答え 1 シラス台地	南九州に広く分布する、火砕流堆積物が重なってできた台地をシラス台地と呼びます。水持ちが悪いため稲作には不向きですが、鹿児島市周辺では宅地造成が進み、多くの市民が暮らす住宅地となっています。なお、カルスト台地は山口県の秋吉台などが有名で、牧之原台地は静岡県のお茶の産地として知られています。
問8	答え 2 畜産	鹿児島県や宮崎県を中心とした南九州は、シラス台地と呼ばれる火山噴出物による台地が広がっており、水持ちが悪く稲作に不向きな土地が多く存在しました。そのため、古くから畑作とともに肉用牛、豚、鶏などの飼育を行う農業が発展し、現在では日本有数の生産地となっています。
問9	答え 2 水はけが良すぎる火山灰土からなるシラス台地が広く分布しており、稲作よりもサツマイモなどの畑作に適していたから。	鹿児島県には、過去の火山活動による噴出物が堆積してできた「シラス台地」が広がっています。この地質は非常に水はけが良く、稲作に必要な水を保持しにくいという性質があるため、伝統的に水田よりも畑作が盛んになりました。現在では、この広大な土地を利用して、サツマイモや茶などの畑作、そして肉用牛や豚、鶏などの畜産が大規模に行われており、日本の食料供給基地としての役割を担っています。
問10	答え 4 大規模な噴火の際、地下のマグマが排出されたことでできた空洞が崩落してできた地形である。	カルデラは、もともとあった火山の中心部が崩落することで形成されます。スペイン語で「大鍋」を意味する言葉が語源となっており、その内部にカルデラ湖が形成されたり、阿蘇山のように平坦な土地が広がって集落や農地が作られたりすることもあります。河川の浸食による盆地や、単なる火口とは形成過程が異なります。
問11	答え 3 宮崎県	宮崎県は、隣接する鹿児島県とともに日本有数の畜産地帯を形成しています。特に肉用牛の飼育が盛んであり、広大な土地と暖かい気候という条件が、大規模な畜産業の発展を支える背景となっています。
問12	答え 4 博多港と韓国間に国際定期航路があり、地理的にも非常に近接しているため	福岡県は地理的に韓国と近く、博多港と釜山を結ぶ高速船（ジェットfoil）などの国際定期航路が日常的に運行されています。このため、他県で多く見られる「中国からの観光客が最多」という傾向とは異なり、船舶を利用して比較的短時間・低コストで移動できる韓国からの観光客が高い割合を占めるという独自の構造を持っています。
問13	答え 4 低緯度から熱を運んでくる「暖流」である黒潮が、日本の南岸から東岸に沿って流れているため。	黒潮（日本海流）は低緯度の暖かい海域から流れてくる「暖流」であり、周辺の気温を上昇させる働きがあります。この海流が九州南部から四国、関東にかけての太平洋沿岸を流れているため、これらの地域は冬でも温暖な気候が保たれています。この気候的特色は、ビニールハウスなどを利用して野菜の出荷時期を早める促成栽培にも活用されています。

- 問1 九州地方では1970年代以降、空港の周辺や高速道路の沿線に、集積回路（IC）などの電子部品を生産する工場が数多く進出しました。これらの工場が、港湾部ではなく内陸の交通の便が良い場所に集まった理由として、最も適切な説明を選びなさい。（2017年 徳島県公立入試 類似）
1. 製造工程で大量の石炭や原油を燃料として消費するため、海外からの資源を直接搬入できる場所が求められたから
 2. 広大な土地と大量の工業用水を確保する必要があり、人口の密集する沿岸部を避けて内陸部に集積したから
 3. 製品が小型で軽量かつ高価であり、航空機やトラックを利用した迅速な輸送が重要視されたから
 4. 製品が非常に重く大型であるため、専用の大型車両が走行できる空港直結の特殊な道路が必要だったから
- 問2 九州地方の宮崎平野などで盛んな、冬でも温暖な気候やビニールハウスなどの施設を利用することで、作物の成長を早めて出荷時期をずらす栽培方法を何といいますか。（2022年 宮城県公立入試 類似）
1. 近郊農業
 2. 促成栽培
 3. 抑制栽培
 4. 二毛作
- 問3 九州地方に位置するある県の農業統計を確認すると、農業産出額の総計が全国でもトップクラスであり、品目別の内訳では米や野菜の金額に比べて、肉用牛や豚、鶏などの「畜産」の金額が突出して高いという特徴があります。この県として正しいものを選んでください。（2020年 鳥取県公立入試 類似）
1. 千葉県
 2. 愛知県
 3. 鹿児島県
 4. 新潟県
- 問4 北西太平洋に位置する熱帯低気圧のうち、最大風速が一定以上になったものを台風と呼びます。この台風が日本の九州・沖縄地方に及ぼす影響と人々の対応について述べた文として、正しいものはどれですか。（2016年 大分県公立入試 類似）
1. 活動を休止していた火山が急に噴火することで発生し、農作物に深刻な灰害をもたらすため、防灰ネットが活用されている。
 2. 夏から秋にかけて接近することが多く、強風や大雨による自然災害をもたらすため、事前の備えが重視されている。
 3. 一年を通じて発生し、冬には大量の降雪をもたらすため、屋根の傾斜を急にするなどの建築様式がとられている。
 4. 突発的に発生する地殻変動が原因であり、大規模な津波を引き起こす可能性があるため、高い防潮堤が築かれている。
- 問5 九州地方の農業において、鹿児島県や宮崎県を含む南九州で特に生産が盛んであり、統計上も九州地方全体の農業産出額の約4分の1を占める主要な部門はどれですか。（2018年 福岡県公立入試 類似）
1. 果実
 2. 米
 3. 畜産
 4. 工芸作物
- 問6 地形図において、標高の低い谷状の土地や川の周辺に、二本の横線に短い縦線が添えられた地図記号（水田）が多く配置されていることがあります。このような低地が水田として広く利用されている理由として、最も適切な説明を次の中から選びなさい。（2020年 群馬県公立入試 類似）
1. 水はけが非常に良く、常に乾燥した状態を保てるため
 2. 標高が低く、森林や果樹園にするには日照時間が不足するため
 3. 川に近く、稲作に必要な水が得やすいため
 4. 地盤が安定しており、大規模な工業団地を建設するのに適しているため
- 問7 九州地方の中西部に位置し、東は宮崎県と大分県、北は福岡県、南は鹿児島県に隣接する県があります。この県の南西端に位置する沿岸部の都市で発生した、四大公害病の一つに数えられる公害病の名称と、その舞台となった都道府県名の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2020年 岐阜県公立入試 類似）
1. イタイイタイ病 ― 富山県
 2. 新潟水俣病 ― 新潟県
 3. 四日市ぜんそく ― 三重県
 4. 水俣病 ― 熊本県
- 問8 九州地方の北部に位置し、福岡県と佐賀県にまたがって広がる、日本を代表する稲作地帯として知られる平野はどれか。（2023年 青森県公立入試 類似）
1. 宮崎平野
 2. 筑紫平野
 3. 十勝平野
 4. 熊本平野
- 問9 九州地方の北東部に位置し、別府や由布院といった日本を代表する温泉地がある大分県では、火山の熱エネルギーを直接利用した発電が行われています。この発電方法を何といいますか。（2025年 北海道公立入試 類似）
1. 地熱発電
 2. 水力発電
 3. 風力発電
 4. 太陽光発電
- 問10 九州地方の工業発展の歴史と、その後の変化について述べた文として正しいものはどれか。（2016年 神奈川県公立入試 類似）
1. 明治時代から石炭資源を背景に重工業が発展したが、現在はIC（集積回路）や自動車工業など産業の多様化が進んでいる。
 2. 九州北部の工業は、地熱発電による電力を主軸として発展しており、石炭や石油などの化石燃料を一切使用したことがない。
 3. かつては石油資源の産出によって重工業が発展したが、現在は環境保護のために全ての工場が内陸部へ移転している。
 4. 現在も九州北部では石炭が主要なエネルギー源として採掘され続けており、重化学工業の出荷額が全国1位を維持している。
- 問11 沖縄県などの琉球石灰岩が広く分布する地域では、雨水が地中に浸透しやすく農業用水の確保が大きな課題となってきました。この課題を解決するため、サトウキビ畑などが広がる地層において、水を通しやすい琉球石灰岩の層と、その下にある水を通しにくい泥岩層との間に「止水壁」を設け、地下水の流れをせき止めて貯水する施設を何と呼びますか。（2017年 沖縄県公立入試 類似）
1. 貯水池
 2. ため池
 3. 湧水地
 4. 地下ダム
- 問12 日本の各県の農業産出額を比較した際、沖縄県には他県と異なる際立った特徴が見られます。その内容と背景について正しく説明しているものはどれですか。（2017年 愛知県公立入試 類似）
1. 平坦な土地と豊富な水資源を活かし、稲（米）の産出額が全体の半分以上を占めている。
 2. シラス台地の特性を活かし、広大な土地で茶の生産や肉用牛の飼育が農業の中心となっている。
 3. 温暖な気候を活かしたさとうきびなどの工芸作物の栽培が盛んで、その産出額の割合が約40パーセントと非常に高い。
 4. 大消費地に近い立地を活かして、キャベツやレタスなどの近郊農業による野菜の産出額が最も多い。
- 問13 福岡県の北九州市に関して、かつて官営八幡製鉄所が建設され重化学工業が発展したが、現在ではその産業構造に変化が見られる。この地域の現在の特徴的な取り組みとして最も適切なものはどれか。（2017年 北海道公立入試 類似）
1. 公害克服の技術や経験を生かしたエコタウンの形成
 2. 広大な平野を利用した大規模な稲作と野菜の抑制栽培
 3. 伝統的な繊維産業を中心とした工場産業の振興
 4. 周辺のリアス海岸を生かした真珠や魚介類の養殖

答え合わせ・解説

問1	答え 3 製品が小型で軽量かつ高価であり、航空機やトラックを利用した迅速な輸送が重要視されたから	集積回路（IC）は、鉄鋼や石油化学製品など異なり、製品が非常に小さく軽量で、かつ高い付加価値を持っています。そのため、輸送費に占める運賃の割合が低く、船による大量輸送よりも、スピードに優れた航空機（空港）や、各拠点へ柔軟に配送できるトラック（高速道路）による輸送が適しています。このような背景から、九州の内陸部にはIC工場が集まり、「シリコンアイランド」と呼ばれるようになりました。
問2	答え 2 促成栽培	宮崎県などの温暖な地域では、冬の暖かさを活かしたり、施設内で温度調節を行ったりすることで、本来の収穫時期よりも早く作物を育てる手法がとられています。これにより、他の地域からの出荷が少ない冬から春にかけて市場に供給することが可能になります。対義的な用語である「抑制栽培」は、高冷地などの冷涼な気候を利用して出荷時期を遅らせる方法を指します。
問3	答え 3 鹿児島県	鹿児島県は、広大なシラス台地が広がっており、水持ちの悪い土地柄からかつては稲作が困難でした。そのため、広大な土地を活かした畜産業が発展し、現在では農業産出額に占める畜産の割合が非常に高い「畜産王国」として知られています。北海道と混同されやすいですが、九州地方という条件や、シラス台地の活用という背景から判断します。
問4	答え 2 夏から秋にかけて接近することが多く、強風や大雨による自然災害をもたらすため、事前の備えが重視されている。	台風は、低緯度の海上で発生した熱帯低気圧が発達したもので、日本付近には主に夏から秋にかけて接近します。九州・沖縄地方はその経路になりやすく、猛烈な風や激しい雨による被害が繰り返し発生してきました。そのため、ハザードマップの確認や避難体制の整備、住居の補強といった防災・減災への取り組みが地域社会の重要な課題となっています。津波は地震、降雪は冬の季節風、灰害は火山活動に関連するものであり、台風の定義や性質とは異なります。
問5	答え 3 畜産	鹿児島県や宮崎県を中心とした南九州は、シラス台地と呼ばれる火山噴出物による台地が広がっており、水持ちが悪く稲作に不向きな土地が多く存在しました。そのため、古くから畑作とともに肉用牛、豚、鶏などの飼育を行う農業が発展し、現在では日本有数の生産地となっています。
問6	答え 3 川に近く、稲作に必要な水が得やすいため	川の周辺や谷状の低地は、周囲に比べて標高が低いいため水が集まりやすく、農業用水を確保するのに非常に有利な条件を備えています。米作り（稲作）には大量の水が必要となるため、こうした地形的特徴を活かして古くから水田として利用されてきました。
問7	答え 4 水俣病 ― 熊本県	熊本県は九州地方の中西部に位置する県で、その南西部の沿岸に位置する水俣市では、工場排水に含まれるメチル水銀が原因で水俣病が発生しました。これは日本の高度経済成長期に深刻な社会問題となった四大公害病の一つです。新潟水俣病は新潟県の阿賀野川流域、イタイイタイ病は富山県の神通川流域、四日市ぜんそくは三重県四日市市の石油コンビナート周辺で発生しました。
問8	答え 2 筑紫平野	筑紫平野は、九州最大の河川である筑後川の下流に広がる平野です。クレーク（水路）が発達し、古くから稲作が盛んに行われています。選択肢の熊本平野は九州中部、宮崎平野は九州南東部に位置します。
問9	答え 1 地熱発電	大分県は火山活動が盛んであり、地下のマグマの熱を利用して高温の水蒸気を取り出し、タービンを回す発電方法が普及しています。これは再生可能エネルギーの一つであり、温泉地としても知られる別府などの地域特性を活かしたものです。水力発電はダムなどの水の落差を利用するもので、火山の熱を利用するものではありません。
問10	答え 1 明治時代から石炭資源を背景に重工業が発展したが、現在はIC（集積回路）や自動車工業など産業の多様化が進んでいる。	九州北部は明治時代以降、豊富な石炭資源を利用して鉄鋼業などの重工業が大きく発展しました。しかし、1960年代のエネルギー革命によってエネルギー源が石炭から石油へと転換されると、炭鉱は閉山し、産業構造の変化を余儀なくされました。その後、空港や高速道路の整備が進んだことで、輸送に便利なIC（集積回路）の工場や、広大な用地を活かした自動車工場が進出し、現在は多様な産業が展開されています。
問11	答え 4 地下ダム	沖縄県の宮古島などに代表される琉球石灰岩地帯では、地表に降った雨が岩の隙間からすぐに地下へ抜けてしまう性質があります。そこで、地下の不透水層（水を通さない層）である泥岩の上に、コンクリートなどで「止水壁」という壁を建設し、地下水の流れをせき止めることで、サトウキビ栽培などの農業用水を安定的に供給する仕組みが導入されました。地上の土地を有効活用しながら、蒸発による損失を防いで水を貯められる利点があります。
問12	答え 3 温暖な気候を活かしたさとうきびなどの工芸作物の栽培が盛んで、その産出額の割合が約40パーセントと非常に高い。	沖縄県の農業産出額の構成を他の県と比較すると、野菜や畜産よりも、さとうきびなどの「工芸作物」を含む項目の割合が突出して高いという特徴があります。これは、台風の被害を受けにくく高温多湿な環境に適した作物として、さとうきびが古くから地域経済を支えてきた背景があるためです。他の選択肢にある「稲（米）」や「近郊農業」は沖縄県の特徴には当てはまらず、シラス台地は鹿児島県を中心とした南九州の地形的特徴です。
問13	答え 1 公害克服の技術や経験を生かしたエコタウンの形成	北九州市はかつて激甚な公害に見舞われたが、市民・企業・行政の協力によりこれを克服した歴史を持つ。現在ではその技術やノウハウを生かし、廃棄物リサイクル施設などを集積させたエコタウン事業を展開し、環境産業都市としての発展を目指している。